

ふくしま

(題字：吉岡小学校1年 ^{たかはし}高橋 ^{こうき}幸輝 くん)

第109号

平成28年6月1日発行

議会だより

発行：福島町議会
Tel. 0139-47-2215



ふくしま

(吉岡小学校1年 ^{にいやま}新山 ひなた ちゃん)

ふくしま

(吉岡小学校1年 ^{のさか}野坂 ^{かのかん}花音 ちゃん)

定例会3月第2回会議
平成28年度予算を慎重に審議 2ページ

ここが聞きたい！ 一般質問 10ページ
～6名の議員より質問が提出～

議会評価
平成27年度(1年間)の活動結果 20ページ

絵本の広場 (福島幼稚園：平成28年4月5日)
写真提供：福島フォトサークル

慎重に審議

定例会3月
第2回会議

6会計予算を可決



全会一致で平成28年度予算を可決

平成27年度定例会3月第2回会議は3月10日に開催され、17日に終わりました。会議では、条例の全部・一部改正、計画の策定・変更、各会計の補正予算など町長提出の35件、議会提出の条例の一部改正、意見書など4件の計39件を審議し、予算審査特別委員会の報告を受け、いずれも原案のとおり可決しました。一般質問では6名の議員が、町の対応や考え方をただししました。参画者は14名でした。

平成28年度一般会計を含む6会計の予算案と関連11議案、計17議案を「予算審査特別委員会（3月11日設置）（平野隆雄委員長ほか議長を除く全議員で構成）に付託し、14日から16日までの3日間慎重に審議しました。審議した17議案は、いずれも原案どおり可決すべきものとなりました。予算審査特別委員会の主な質疑・意見交換の内容は13頁から17頁に掲載しています。

また、平成27年度当初予算との比較は、下表のとおりです。

全会計の予算状況

単位：千円

会計名	平成28年度	平成27年度	増額
一般会計	3,644,234	3,871,738	△ 227,504
国民健康保険	993,569	1,024,680	△ 31,111
介護保険	602,681	597,165	5,516
後期高齢者	61,787	61,676	111
浄化槽整備	50,789	48,434	2,355
水道事業	212,370	143,105	69,265
計	5,565,430	5,746,798	△ 181,368

平成28年度予算を

新たに行う事業をピックアップ



外部有識者を招き、懇談会を開催（4月13日）

●定住促進住宅構想策定事業費
200万円

市街地中心部等の空き地を活用し、若者が住んでみたいと思う魅力ある住宅を整備するため、定住促進住宅整備プラン（仮称）を策定するものです。

●まちづくり組織化に向けた

地域再生マネージャー事業費
560万円

まちづくりを担う組織の設立により地域の活性化を図り、雇用の場を確保し、若者の定住を促進しようとするものです。

●子育て支援センター
整備事業費

3,500万円

子育て世代の交流広場の提供を図る子育てサロンの利用者が増加していることから、利用者の安心・安全を確保するため、現在の施設を増築するものです。



利用者が増加している子育てサロン

●コンブ養殖係留ブロック
設置事業費

2,020万円

係留ブロックを増設し、安定したコンブ養殖と漁業経営につながるものです。平成30年度まで継続を予定しています。

議会関係の

2条例を改正

■政務活動費の交付に関する条例の一部改正

【改正内容】

議会の審議機能をさらに強化し、議会の活性化及び町の一層の進展に寄与するため、交付額を引き上げました。また、改選前の4月から8月までの5カ月間も交付対象としました。

〔改正前〕

月額5千円（年額6万円）

〔改正後〕

月額1万円（年額12万円）

■議会議員の歳費及び費用弁償等に関する条例の一部改正

【改正内容】

職員・特別職と同様に議員の旅費日当を1千円から2千円に引き上げる改正をしました。

平成28年度 議会費の使い道

総額185万円の減額

単位：千円

区分	28年度	27年度	増減	概要
報酬	22,809	22,609	200	議員歳費 22,764、諮問会議委員報酬 45
手当等	8,072	7,992	80	議員期末手当
共済費	9,595	14,169	△ 4,574	議員共済等負担金 9,006、社会保険料等 589
賃金	1,955	1,919	36	臨時職員賃金（会議録作成）
報償費	100	100	0	専門的審査・調査謝金
旅費	1,844	1,167	677	普通旅費 674、視察研修旅費 657、職員旅費 172 同行旅費 229、委員費用弁償 12、委員旅費 100
交際費	150	150	0	議会としての慶弔費など
需用費	993	922	71	議会だより印刷製本費 664、消耗品費等 329
使用料及び賃借料	162	157	5	議会ホームページ単独運用（使用料） 40 インターネット中継回線利用料等 122
備品購入費	—	306	△ 306	
負担金・補助及び交付金	1,725	885	840	管内議長会等 371、四町議員協議会 85 議員公務災害補償組合 69、政務活動費 1,200
償還金・利子及び割引料	1,126	9	1,117	備荒資金組合への償還金 （議会中継システム更新 1,110、音響等設備更新 16）
合計	48,531	50,385	△ 1,854	

定例会 1月会議

平成27年度定例会1月会議は1月21日に開催され、町長提出の議案2件、議会提出の議案1件、計3件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。参画者は1名でした。

人口ビジョン・総合戦略を 議決対象に追加

■議会基本条例の一部改正

【改正内容】

議会で議決する重要な計画として「福島町人口ビジョン・総合戦略」を追加しました。

吉岡総合センター 事務用備品を購入

■財産の取得

【提案内容】

吉岡総合センターの事務用備品購入契約を議決しました。内容は次のとおりです。



多くの利用が期待される
吉岡総合センター

【財産の名称】

吉岡総合センター事務用備品一式

【取得金額】

10,821,600円

【取得の相手方】

合名会社 西田商店

定例会 2月会議

平成27年度定例会2月会議は2月23日に開催され、町長提出の議案9件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。参考者は2名でした。

今後8年間の

めざす将来像を策定

■第5次福島町総合計画の策定

【内容】

第5次福島町総合計画は、町の最上位に位置付けられる計画です。今後、町がめざす将来像（基本構想）や全体的な方針（基本計画・実施計画・展望計画）を示した計画を議決しました。

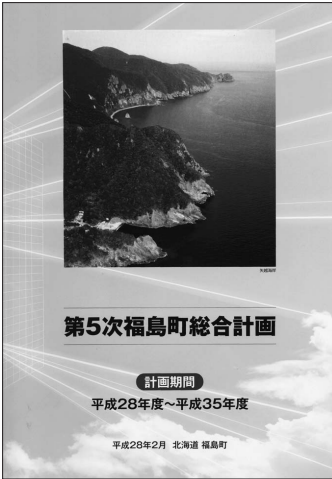
人ロビジョン・

総合戦略を策定

■福島町人ロビジョン・総合戦略の策定

【内容】

昨年11月末に案を示し、「総合戦略に関する調査特別委員会」、地方創生推進会議への諮問、パブリックコメント、町民説明会での意見集約等を終え、最終案としてまとめたものを議決しました。



第5次福島町総合計画

計画期間

平成28年度～平成35年度

平成28年2月 北海道 福島町

策定した
第5次福島町総合計画

定例会 3月会議

平成27年度定例会3月会議は3月3日に開催され、町長提出の議案2件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。参考者は1名でした。

非常勤特別職に

水産アドバイザーを追加

■特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

【提案理由】

水産業の振興と地元産業の活性化を目的として行うアワビ陸上養殖事業を実施するため、事業の推進に必要な知識と経験を持つ人材をアドバイザーとして招聘する必要があることから、条例を改正しました。

【改正内容】

○非常勤特別職に新たに「水産アドバイザー」を新設、報酬の支払方法は月額とし、報酬額は22万円とする。

○町内での移動等には費用弁償を支給しないこととする。



水産アドバイザー
山内 繁樹 氏

定例会3月 第3回会議

平成27年度定例会3月第3回会議は3月30日に開催され、町長提出の議案4件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。参考者は1名でした。

課長補佐職の職名に

主幹を追加

■職員の給与に関する条例の一部改正

【提案理由】

課長補佐級の職名に「主幹」を追加することに伴い、条例の一部を変更しました。

未利用資源を活用

アワビ陸上養殖を実施

■平成28年度一般会計補正予算(第1号)

○未利用資源を活用した「たべる昆布」で地域活性化事業費

1,499万5千円

未利用資源(間引きコンブ)

を活用した食べるコンブ等の製

品を開発・販売することで未利用資源の有効活用を図ります。

○新たな陸上養殖技術の開発による「蝦夷アワビ」ブランド化事業費

2,248万9千円

新たな陸上養殖技術を確立することで、アワビの安価で安定した生産供給を可能にし、新たな加工・販売の可能性を目指します。

定例会 4月会議

平成28年度定例会4月会議は4月26日に開催され、町長提出の議案3件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。参考者は1名でした。

福島大神宮祭礼行列

祭具・衣装を更新

■平成28年度一般会計補正予算(第2号)

○文化財保護費

250万円

コミュニティ助成事業を活用し、福島大神宮例大祭祭礼行列(奴・四ヶ散米)に係る祭具・衣装の更新を行うため、祭礼行列保存会へ助成するものです。

○デマンドバス車両購入事業

500万円

高齢者等の乗降時の不便を解消するため、低床タイプの車両に更新することで利便性・安全性の向上を図ります。



奴 行 列

各議案の審議結果

- ・賛成が○、反対は×と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議案名	議員名									審査結果
			杉村志朗	滝川明子	川村明雄	花田勇	木村隆	平沼昌平	佐藤孝男	熊野茂夫	平野隆雄	
1月会議	45	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	46	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委6	福島町議会基本条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2月会議	47	福島町吉岡総合センター条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	48	福島町吉岡支所の移転に伴う関係条例の整理について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	49	職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	50	第5次福島町総合計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	51	福島町人口ビジョン・総合戦略の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	52	第2次福島町まちづくり行財政推進プランの策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	53	平成27年度福島町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月会議	54	平成27年度福島町介護保険特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	55	平成27年度福島町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	56	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月第2回会議	57	平成27年度福島町一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	58	福島町行政不服審査会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	59	福島町行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	60	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	61	福島町課設置条例の全部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	62	福島町組織機構再編に伴う関係条例の整理について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	63	旅費日当等の改正に伴う関係条例の整理について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	64	福島町学童保育条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月第2回会議	65	福島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	66	福島町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

会議名	議案番号	議案名	議員名								審査結果	
			杉村志朗	滝川明子	川村明雄	花田勇	木村隆	平沼昌平	佐藤孝男	熊野茂夫		平野隆雄
3月 第2回 会議	67	福島町漁業近代化資金利子補給条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	68	福島町過疎地域自立促進市町村計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	69	福島町森林整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	70	渡島西部地域介護認定審査会共同設置規約の一部の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	71	平成28年度福島町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	72	平成28年度福島町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	73	平成28年度福島町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	74	平成28年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	75	平成28年度福島町浄化槽整備特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	76	平成28年度福島町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77	福島町財政調整基金の積立金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	78	平成27年度福島町一般会計補正予算（第12号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	79	平成27年度福島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	80	平成27年度福島町介護保険特別会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意 5	福島町農業委員会委員の選任について ※佐藤孝男議員が関係する議案のため、佐藤議員は退席しています。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 同意	
同意 6～ 11	福島町農業委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
諮問 2	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 適任	
発委 7	福島町政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決	
発委 8	議会議員の歳費及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
発委 9	脳しんとう等、軽度外傷性脳損傷の周知と予防、相談窓口などを求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
発委 10	介護報酬の再改定を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3月 第3回 会議	84	職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決	
	85	積立金の処分の議決変更について	○	○	○	○	○	○	○	○		
	86	平成27年度福島町一般会計補正予算（第13号）	○	○	○	○	○	○	○	○		
	87	平成28年度福島町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○		
4月 会議	1	第5次福島町総合計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決	
	2	福島町財政調整基金の積立金の処分の議決変更について	○	○	○	○	○	○	○	○		
	3	平成28年度福島町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○		

文書質問 福島幼稚園の支援策・少子化、子育て支援策は

質問者：川村 明雄 議員

【質問】

- ① 保育所の無償化に伴う福島幼稚園への支援対策が住民に浸透していましたか。町広報での周知等、対策はいかがでしょうか。
- ② 共働きが多くなった現代、若い世代の安心した子育てにより、将来の家族形成や教育面まで、根底となる基盤を盤石にできると思います。少子化の歯止めや子育て支援に対する町長の考えをお聞かせください。

【回答】

- ① 事前に福島幼稚園に町の方針等を伝え、理解をいただいているものと考えています。保護者等への周知はあくまで私立幼稚園の努力が基本と考えております。

要請があった場合は町広報を通して周知してまいります。

- ② 少子化・定住対策に欠かせないものは、第一に働く場、第二に子育て環境の充実、第三に住環境と考えています。そのことから、基幹産業である水産業において地場の生産力を高め、若者等の雇用の場を確保することが必要であり、浜の振興計画の策定に向けた準備をしてまいります。

「子供は地域の宝」であり、これからも地域全体で子供を産み育てるような環境の充実に、積極的かつ果敢に挑戦してまいります。

平成28年度版 議会白書 が完成！

1年間(H27年度)の活動内容を
1冊にまとめました！

平成27年度の議会活動をまとめた「平成28年度版議会白書」が完成しました。

これまでの議会改革の経緯や、本会議での一般質問の項目、各常任委員会での調査項目等をまとめ、全議員の会議や行事等への参加状況も一目でわかるようになっています。

詳しい内容は、議会ホームページをご覧ください。

○議会ホームページ

<http://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>

平成28年度版

議会白書



杉村 志郎 議員



滝川 明子 議員



川村 明雄 議員



花田 勇 議員



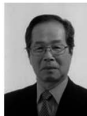
木村 隆 議員



平沼 昌平 議員



佐藤 幸男 議員



熊野 茂夫 議員



平野 隆雄 副議長



清部 幸基 議長

北海道福島町議会

http://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp

〒019-1192 北海道福島町新町字福島 529

電話番号 0119-2215 fax 0119-1092

平成28年5月作成

一般質問

このたびの一般質問は、6名の議員から9問の質問がありました。
1回目の質問・答弁を抜粋・要約して掲載しました。

高校存続のための対策は

道立高校を維持する手段を講じていく

【熊野茂夫議員】

平成18年以来、福島商業高等学校の存続のために種々の対策を講じてきましたが、平成27年度は中学卒業生37名で、20名の福島商業高等学校への志望者の確保ができてなかったことについて教育長はいかにお考えか。また、当面キャンパス校として存続されたとしても、子どもの人数を見ると、現況での存続が無理な状況が予想されます。福島町の高校教育をいかに確保すべきか伺います。

※紙面の関係上、1項目だけ掲載しています。



熊野 茂夫 議員

【盛川哲教育長】

20名を確保できなかったことは、広域的なPR不足及び活動時期的なことがどうだったか、また、クラブ活動への指向に対応しきれないことなど、きちんと振り返り翌年度につなげる必要があると考えています。

ただし、子どもたちが普通高校へ向かうこと、また保護者がそれを望む方向にあることを、教育行政として妨げることはできないと考えています。

いかに高校教育を確保すべきかは、大変重大な事案であり、現段階で5年6年先のことは言及できかねます。基本的に道立高校を維持するために考えうる手段を講じていきます。

横綱ビーチの活用と岩部海岸を含めた観光客誘致は

地域資源を活かし、地域の方々と知恵を出し合いつくりあげる

【杉村志朗議員】

海峽横綱ビーチ（月崎）は、年間を通して7月から8月までの1ヶ月位しか使われていませんが、特別な理由があるのか。

また、矢越岬までの海岸はタタミ岩海岸、耳岩、船力クシの潤など奇岩、景勝の雄大な景観を十分楽しめる魅力ある場所です。

新幹線開業後、沢山の観光客が当町にも見込まれると期待されますが、観光客誘致のため、今後の町づくりをどのように考えているか。

【鳴海清春町長】

海峽横綱ビーチの利用期間は5月1日から11月30日までとなっています。

岩部から矢越岬に至る海岸線の奇岩が続く雄大な景色は魅力的な秘境地帯で、当町の大切な観光資源の一つと考えています。

町としては、交流を呼び込む組織体制を早急に整備する必要がありと考えており、地域おこし協力隊を中心に新たな組織の立ち上げを目指しています。

地域の資源を活かしつつ、「食べる・見る・買う」の3つを地域の方々と知恵を出し合いつくりあげていきます。



杉村 志朗 議員

ここが聞きたい!

詳しい質問内容については、議会ホームページをご覧ください。
なお、熊野議員・佐藤議員・平沼議員は2問の質問をしています。



佐藤 孝男 議員

「福島音頭」の復活とアピールを 広報等による周知、普及啓発に努める

【佐藤孝男議員】

福島音頭は一定の年齢の人には耳慣れた歌ですが、最近聞くこともなく、歌う人もいません。この町の歌を各団体で広め、イベントの際にはみんなで歌い、踊りの輪を作ることができ、若いも若きも一つになって明るく元気な福島町の歌「福島音頭」の復活を是非とも推し進めていただきたい。

【鳴海清春町長】

「福島音頭」は、昭和40年代前半に町民が一つになって楽しめることを目的に、町内の有志が集まって作られたものと伺っています。作成された当時は、町内で広く愛唱されていたと記憶しています。平成21年に保存を目的にCD化しており、東京や札幌の福島会の総会や交流会で活用されています。

ご提言については、今の時代背景を考えると大変難しさもあります。先人たちが大切に守り伝えてきた歌で、町の名称や風景が歌われており、親しみやすい曲でもありますので、まずは、敬老会などの町の行事で活用することで、町民への浸透を図ってまいります。



滝川 明子 議員

マイナンバー制度の周知方法は 周知を継続し、制度の普及啓発に努める

【滝川明子議員】

個人情報の一つの番号に集約されたことで、一度に多くの情報が流出する危険性が高くなりました。

町長のマイナンバーの考え方を伺います。

また、町民からどのような問い合わせがあるのか。注意すべきことを町広報誌などでお知らせしてはどうか。

【鳴海清春町長】

新聞報道において、システムの不具合などの問題が報じられており、国民に迷惑が及ばないよう国においてしっかりとした対応を望むものです。

また、詐欺被害の未然防止を図るべく福島交番の所長による町内会総会での講話を活用し社会福祉協議会などとも連携した取り組みをしています。

窓口によく寄せられている問い合わせは、どのように何に使われるのかなどであり、マニュアルに従い対応してまいります。

今後も広報等による周知を継続することで、制度の普及啓発に努めていきます。

一般質問

詳しい質問内容については、議会ホームページをご覧ください。

魅力ある福島商業高校の存続対策は

クラブ活動の指向に合わせ、人面への対応ができないか考えている

【川村明雄議員】

福島商業高等学校の存続対策は皆さん周知のとおりですが、中学校や親が心から魅力を感じ、わが子をぜひ本校に、という魅力ある学校に変革できないものでしょうか。

進学時には、まとまったお金が必要なことから、助成金として大学100万円、短大50万円、各種学校10万円を支給してはどうか。

また、来年度以降の存続対策としての新たな思案の是非。魅力ある高校への変革対策の有無は。



川村 明雄 議員

【盛川哲教育長】

進学助成金については、予算編成権は町長にあります。今後検討委員会等の中で議論の素材にはなると思います。

平成28年度からの新対策は、ホームステイ・下宿に係る支援、ふるさと留学支援、自動車運転免許取得費用の一部助成等であり、これらの関係は平成28年度当初予算の審議過程で理解をいただくよう考えています。

平成29年度からは、中学卒業生の指向がクラブ活動にあることから、そういった点を福島商業高等学校長あるいは道教委等と人面での協議・相談ができないかと考えています。

町長公約、4点の条例の目標値と検証の方向性は

様々なスキルアップに繋げていきたい

【平沼昌平議員】

平成28年4月1日施行の4点の条例（人財育成基金条例、公共施設の指定管理者に関する手続き条例、がんなんかに負けない基本条例、空家等の適正管理に関する条例）の数値目標と検証体制について伺います。また、目標値の根拠と将来性を踏まえた数値変動予想についても伺います。

※紙面の関係上、人財育成基金条例に関する回答のみ掲載します。

【鳴海清春町長】

人財育成基金条例に基づき、当町の将来を担うあらゆる分野のリーダー等を育成・支援するための助成については、現在、産業区分別（第1次、第2次、第3次、教育・文化）に懇談会を開催し、各団体の要望や意見を聴きながら制度の整備に向けて協議を進めています。

当該条例の執行に際しての数値目標の設定は困難と考えていますが、広く利用しやすい助成制度を整備し、様々なスキルアップに繋げていきたいと考えています。

将来性に関しては、基金を活用した助成制度を10年間継続して、町民の方々が、自ら進んでスキルアップを目指す意識の醸成にむすびつけたいと考えています。



平沼 昌平 議員

平成28年度

一般会計予算
36億4,423万4千円

17件の
議案を
可決

予算審査特別委員会

産業の再生による雇用の創出・
次世代を担うリーダー等の育成

◎水産業、水産加工業

問 佐藤委員 ナマコを始めた頃は、浦和、白符漁港に放流し、福島の静穏域、その後、吉岡にも放流しましたが、どこが一番ナマコに適しているか。放流2年後に白符漁港で追跡調査をしていると思いますが、今後どういう放流をし、追跡調査を続けるのかどうか。

答 追跡調査については、漁業協同組合の方で毎年やっております。適地については、白符と吉岡は根固めの石が浅く、隙間が少なく、割と発見率が高いです。

浦和は、隙間が大きく、ナマコが入っているようですが、見えなくて、漁獲サイズになるまで分からない状態です。吉岡は、漁港西側の磯場に放流しております。溝が走っており、ナマコが生息する良い場所だと指導所

と話しております。
福島の静穏域は、隙間が大きく、生息に適しているかもしれませんが、漁獲する場合には、見つけ難いです。

問 木村委員 ナマコの稚仔放流事業について、町助成の臨時職員が3年間採苗できる体制で、最後に、組合職員になる形の意見書を付けた記憶があります。2年間で最初の方が辞め、27年に新しい方を採用したと思いますが、平成27年度で助成が切れ



多くの水揚げが期待される
ナマコ放流事業

答 今、担当している組合の職員は、正職員になっております。水産関係の専門学校で、ウニの採苗などを実践しており、ある程度、知識を持っております。

◎農業

問 平沼委員 熊等駆除の目標数値、捕獲数45頭と書いてますが、実績に基づいた頭数なのか。

答 実績に基づく目標値です。ヒグマ、エゾシカ、キツネ、タヌキで、シカは重点的に頭数を増やしたい。熊は、平成27年度8頭で、目標も同数です。



年々増加しているシカ等による被害

◎林業

問 熊野委員 森林組合の総合調整の進行状況は。

答 森林組合の調整状況ですが、1月から臨時職員を雇い、平成26年度の決算関連書類の調査をしている状況です。平成27年度の決算は、森林組合の総会等があり、今後、調査となります。

◎商工業、地場産品

問 杉村委員 地場産の研究事業費80万円の補助ですが、体制の見直しを行い、観光協会との連携事業拡大を図り、平成28年の見込みで、2・5倍（2百万円）の売上を見込んでいますが、この体制の見直しとは、どういうことか。

答 体制の見直しは、地域おこし協力隊で新たな法人化に向けた事業を進めています。観光協会・地場産も含めた事業を行っている形で、考えています。

◎熊野委員

商工振興費のプレミアム商品券。商工会の要望もありですが、時期や、そのやり方と、様々な問題点が町民から指摘されていますが、検証、解決策等進められていますか。

答 平成27年度にアンケートを取っております。結果を見ながら、反省点を整理し、事業を行っていく予定です。



平成27年度に実施した
プレミアム付き商品券発行事業

◎観光、交流

問 平沼委員 記念館の方向性について、北海道新幹線開業で、集客を見込んで各町村がイベントを考えていますが、一過性のものだと思います。横綱記念館は、九重部屋あつての記念館であり、町民全員で九重部屋を応援する姿勢を持つべきだと思います。

九重部屋力士の星取表を本場所中に掲示し、記念館をもっと地元の町民が盛り上げる。町外から来てくれる方々にその魅力を伝える1つのパーツとして、フォロワーの仕方、記念館グレー

ドアップの施策をお聞きします。国家的なプロジェクトの青函トンネルがあつての北海道新幹線開業となりますが、世界一の座をスイスとイタリア間のゴツタルドベーストンネルに、海底部でも、英仏海峡のトンネルに譲り渡しています。

世紀の大工事、世界一と、宣伝をしてきましたが、今までと同じでない意識しなければならぬ。トンネル記念館の活用の仕方、あり方を、検討し、トンネルの種類や技術、それから工法、トンネルに特化し、国内に発信していく方がいいのではと思うが、町長の考えをお聞きします。

答 横綱記念館は、偉大な横綱を顕彰する施設として、後世の子ども達に伝えていく必要ががあります。町の誇りであることを認識し、情報発信していく必要ががあります。

親方が大関から横綱なった頃、福島町も相当フィーバーしました。合宿に来た時に、イベントに協力いただけてますが、少し創意工夫し、九重部屋の力士を我が町の力士だというところを町民に広めていく必要があると思います。

親方は、郷土に対する思い入れも強くあり、協力を惜しまな

いという言葉もいただいております。町民と力士が触れ合う機会を少し多くし、力士を応援することによって、裾野が広がると思っております。

青函トンネルは、さらに脚光を浴びると思っております。世界一の称号は、スイス、英仏の関係で立ち位置は違ってきましたが、新幹線は、札幌延伸になりますと、時間との勝負になります。青函トンネルが、色んな形で脚光を浴びてくると思っております。何が出来るかを考えていきます。

開業によって、東北圏まで視野に入り、札幌より近い距離間になりますので、福島町の記念館に足を止めてもらおうよう、町としてしっかりやっていきたいと思っております。



多くの来館者が期待される
トンネル記念館

町民の安心安全な暮らし・
がん予防対策の充実

◎保健予防、健康づくり

問 川村委員 温泉露天風呂の漏水は明確でないと思いますが、目に見えるほど漏水しているのかなと思いつつも入るのですが、どうでしょうか。

温泉であれば、少し湯気があつた方が温泉らしくて良いという考え方もありますけれども、時間になったり、人がいなくなつたら、一回、湯気を出すという方法、モーターの回転数を変えるなどの方法がありますが、いかがですか。

答 漏水の実際の量は特定できておりません。現在、深さが66センチございますが、それを6センチ浅くして、60センチにする対策は講じていきたいと考えております。

換気扇は相当高い所にあり、足場を組んで、休館しての作業となりますので、ご承知をいただきたいと思います。

露天風呂は、ヒノキで、大分年数が経ち、隙間ができ、相当空いているのがわかります。漏水量については、循環ろ過式ですので、難しいものがあります。

ます。

今回は、省エネ対策の有効手段として露天風呂の風除室により浴室の温度を保つことができると思っています。理解していただきたい。



建築から21年が経過する吉岡温泉

◎地域福祉

問 木村委員 高齢者の除排雪が、新しい事業をやり、屋根の雪下ろしは実績が少ないので減額しますが、総合的な高齢者の除排雪の助成事業を見直したらどうか。社協除雪のボランティアは無料です。該当する世帯に1回2万円のところを1万円補助しても、無料の政策を優先すると思います。総合的な議論も必要と思うので、秋ぐらいいま一度調整してもらいたいと思います。ですが、どうでしょうか。

答 除雪については、今回新たに付け加えました。町内会と連携しながら、町内会運営の資源に充てられないかと考えました。福祉ボランティアの制度もありますが、きつちり機能していません。登録してくれる方がいないとか、各町内会によっては結構厳しい状況も聞いております。

提言がありましたので、この冬にかけて、町内会・社会福祉協議会とも相談し、新たな総体的高齢者の除雪対策が可能であれば、議論していきたいと思っております。

豊かな環境と若者等の定住
対策・子育て環境の充実

◎公共交通、情報通信

問 佐藤委員 デマンドバスは、2回ほど試験運行を実施し、昨年からは本格運行しておりますが、課題と、その検証がされて、バスの購入に至ったのかどうか。

答 地域公共交通確保維持改善協議会でのデータで、平成27年度の利用者数が、総数で2,686人、運行便数が延べ1,367便。一便数で、平均が2.0人、1日当たりの利用者数が11.1人になります。

試行の時から微増ですが、高齢者の方が、日常の足にしているということで、継続運行を続けたいです。

特に利用便数が少ない便もあり、運行の仕方については検討する必要があるという検証がありました。

1回300円ですが、低額にという話もありましたので、協議会で、事務局から話しました。利用者が微増していますが、一方、事業者側の延べ利用者数は減っていることも報告されました。民営の事業をあまり圧迫するような低料金設定は、問題があるということで、当初設定のまま引き継いでいくこととされております。



利用者の増加が期待される
デマンドバス事業

◎住宅

問 川村委員 定住促進住宅構
想で、若い人方、Uターン、I
ターン、Jターンの人方と、町
に定住してくれる人に、住んで
魅力のある住宅を整備したいと
いうことで、市街地中心部となっ
ていますが、パン屋、ケーキ屋
野菜屋、喫茶店とか、色んなこ
とを構想して来てくれる方にす
れば、木々に囲まれた市街地か
ら離れた場所をとの考えもある
と思います。

建築屋さんの若い人方の構想
も取り入れながら、来る方のニ
ーズ、要望の把握も必要だと思
います。

定住した後、それを売却する
ことも、課題かもしれません、
構想が展開する方向を、教えて
いただきたい。

答 基本的な考え方は、福島
の中心部に空き地等が目立ってお
りますので、それを活用し、おっ
しゃるような形での住宅を考え
たいというのが、第一義的なこ
とでした。

その後、中心街に拘らず、民
地も視野に置いて、それぞれの
場所にに応じて、魅力ある住宅構
想を作り上げていければという
基本的な考え方です。

売却の関係ですが、住宅を最

終的にどうしていくか、隣町の
実例も参考にし、購入する方が、
引き続きその住宅に住み続けて
いけるような形での色んな施策
を検討して、まとめ上げていき
たいと考えております。

◎児童福祉、子育て支援

問 熊野委員 学童保育につ
いて、日常の家庭学習までの視野
を持つてできないですか。執行
方針にあるコミュニティスクー
ル等の地域、学校、保護者との
関係など、学童保育を活かして
いく方法がある気がする。特に
小学校の基礎学力をカリキュラ
ムに組みながら、教育委員会の
施策として土曜学習や通学合宿
などを組み入れてもらう。コミュ
ニティスクール等の話もありま
すので、大事な視点が入ってく
ると思いますがいかがですか。

答 学童保育については、保育
士なり、先生の免許を持った方
も希望はしましたが、なかなか
確保できない事情があります。
ただ、学童保育そのものは、親
御さんに代わってやるというこ
とになりますので、当然、学び
もあるし、遊びもある。体験を
主にしていく中で、共同生活、
集団的なことを学ぶものと思
います。

担当の保育士さんも、カリキュ
ラムに基づいて、親御さんの代
わりという形の中で、保育をさ
れていると認識をしています。
連携を深めることで出来るもの
もあると思いますので、教育委
員会とも連携を取りながら、で
きるものはしていきたいと思っ
ています。



学童保育（まゆだま作り）

学び合い、たくましい人
を育てる

◎幼児教育、学校教育

問 杉村委員 児童生徒の輸送
費について、各方面の輸送の人
数を教えてください。

答 小学生は、千軒・白符方面
で8名、中学校は、吉岡方面を
入れて、全員で22名です。



児童・生徒を送迎するスクールバス

問 木村委員 各種大会参加助
成金ですが、100パーセント
助成をするという形に対しては、
理解をします。

今後、人財育成基金が始まっ
たら、そちらの方に移っていく
と思うところですが、その中で、
委員会の時にも指摘しましたが、
中体連に50万円ここから出てい
ますが、平成28年度もそのまま
50万円のみでいるということ、
本来であれば、その100パー
セント助成をするのであれば、
その分の20万円なり30万円なり、
今まで出てきたものは減額して
もよかったと思っっているん
ですが、学校側から何かそういう依

頼があったのか。その辺の助成の今後の考え方の話し合いというのは、しているのでしょうか。

答 予算の時と予算内不段階で、学校に内容は話しております。

前年度並みの補助を考えている、団体への補助については、学校と詳細に当たる部分は話しておりませんが、概算と精算の形で前年と同様の処理を続けたいと思っております。

各種大会等の参加助成は、考え得る詳細のものを挙げてもらい、その数値を予算計上しております。

問 溝部議長 給食の関係は当面、私会計の対応をするとのことですが、私会計をそのまま残すということで、もう一回、有料化する可能性を懸念します。2年、3年でまた有料化ということはないと思いますが、どうですか。

答 給食費の無料化につきましては、財政推計プランでもきちんと4年間分を示しておりますので、4年間はきちんと継続する。交付金については、その時点で財政状況の変化がありますので、そこで議論する形になると思います。

できれば無償化は続けていき

たいと思っております。決して公会計を議論しなかったわけではありません。まずは現状の中でやらせていただく。将来的には公会計に移していく形が理想だと思っております。



現在無料化となっている学校給食

協働のまちづくり・ 行財政運営の充実

◎ 行政運営

問 滝川委員 有給休暇の問題ですが、具体的に教育委員会、商工課、保育所、各課長から実情をお聞きしたい。

イベントや行事、お休みなく仕事している部署は、特に管理職が自ら仕事も忙しいですし、有給休暇を取ったとしても、その対応をどうするか、大変厳しいと思います。係が違って、手の空いている管理職も含めて、協力をお願いする状況がどうか。こんなに率が低いということは、かなり取りづらい状況にあると思うが、実情をお聞きしたい。

答 平成27年度2月時点で、振替休暇の関係、代休の関係で、各課の振替の日数を調べています。1人平均、商工観光課14日、生涯学習課21日、現時点の消化率は、生涯学習で、81パーセントが代休消化しています。商工観光で70パーセント弱であります。

代休の日数があるので、それを取得していると、有給休暇の取得が少ないということもあり

ます。他の部局では、何日かありますが、ほぼ大体100パーセントに近い形で代休を消化していますが、有給休暇の取得は若干低くなっております。

平成17年の合併破たん時に、経費を節減するために今の制度を作りましたが、結果として、振替制度で休んだ分で有給が減っている。振替を少なくする方法として、時間外対応ということも考えておりますので、平成28年度にしっかりと検証していきたい。

有給休暇の取得率が低く、職場環境としては、よろしくないと思っておりますので、促進を図るということで30パーセント、40パーセントに上がるように、対策を講じていきたい。

人財育成基金の有効活用を！

《 産業・福祉・文化・スポーツ等各種団体、企業等に適用 》

【調査概要】 H28. 4. 26調査

町では、2月24日から4日間、町内の各種団体と人財育成・企業応援等の制度設計についての懇談会を行い、制度設計の概要をまとめましたので、その内容について、総務教育常任委員会で調査しました。

調査の主な内容は次のとおりです。



未来のまちづくりへつなげる

【調査の論点と意見】

1. 人財育成補助関係について

人財育成基金条例に基づく制度設計の案については、各種団体との懇談会を経て整理された内容であり、町の考え方について理解する。

産業団体（企業）は会社としてのビジョンや計画をもって社員に資格取得させているはずであり、安易な補助は企業の主体性を損なうと懸念されることから、目標や考え方を記入する欄を設けるなど、企業が主体性を持つように促すための対策も重要と考えます。

示された補助金交付要綱（案）の内容について、委員会として整理した論点を次のとおり述べます。

① 補助対象者の文言の整理

町の説明では団体等の職員は補助対象外であるが、資格を取り、町に貢献してもらう考え方からすれば、対象外とすることを検討したい。

産業団体の構成員となっているが、内容を明確に示してもらいたい。

団体等に所属しない、資格取得を希望する個人、小さいサークルなどの構成員は補助対象外となるのか明確に示してもらいたい。

町職員は各種団体の構成員としての資格取得の場合も補助対象外とするのか明確に示してもらいたい。

② 講演会の補助金限度額の再検討

講演会開催事業の上限額（15万円）では、大きな規模の講演会は開催できず、著名な講師等を招聘は難しい。小規模な講演会は、研修会・講習会での対応とし、別に事業費が高額となる講演会を対象とするよう検討したい。

規模が大きな講演会等を近隣町と合同で開催する場合、主催が町内団体であれば対象とするよう検討したい。

③ 教育関係団体の窓口は教育委員会に

交付申請のうち児童生徒に関する事業は教育委員会が手続きを行うとあるが、補助対象者（団体）の中には文化団体協議会や体育協会などの教育関係団体等も含まれていることから、教育委員会を窓口とするなど、混乱なく申請できる体制を検討したい。

④ 人財バンクの登録

補助を利用して資格取得した者は人財バンク登録に協力してもらうとの説明だが、既に指導者として活動している方々についても、制度を活用し、より高い技術の取得を促すよう検討したい。

2. 企業等応援関係について

経済福祉常任委員会で所管調査いたします。

常任委員会とは？

地方自治法第109条の規定により設置される委員会です。

当町は、総務教育と経済福祉の二つの委員会があります。

委員会は、町の施策について、調査し、議会としての意見を施策に反映させています。

【調査概要】 H28. 2. 24調査

第5次福島町総合計画の初年度となる平成28年度予算は、鳴海町長就任後、初の本格予算編成となることから、関連した条例の制定・一部改正が必要な条例等について、内容等を調査したものであり、その結果は、次のとおりです。

機構再編→行政スリム化・迅速に！

《 人事評価導入・職員定員管理適正化計画見直し・研修充実 》

【調査の論点と意見】

1. 行政不服審査法の改正に伴う条例制定等について

行政不服審査法等の法改正が平成28年4月1日に施行されることに伴う、新規2条例の制定・6条例の一部改正に関しては、特に問題はないと考えます。

福島町行政不服審査会条例（案）の運用にあたって、第3条における審査会委員の委嘱については、条文の規定に、「法律・行政に関して優れた識見を有する者のうちから町長が委嘱する。」とあり、町内での法務従事者や官公庁退職者等の委嘱を行うことも予想されるが、その専門性から、渡島町村会等へ依頼し、町外から優れた識見者の委嘱の検討も必要と考える。

事件ごとに審査会を設置し、都度、委員の委嘱を行うとあるが、予め想定される事件ごとに委嘱者の選定を行っておくなどの措置が必要と考える。

2. 旅費日当の改正について

旅費日当については、財政健全化計画等により近隣三町に比べ低く抑えてきたが、管内の状況を勘案し、町外旅費日当を1千円から2千円に引き上げる改正は、妥当であると考えます。

3. 機構の再編について

平成17年度に従来の課・係制からグループ制へ大幅な見直しを行い、人口減少を踏まえ、機構の見直しを行ってきた。今回の機構再編は、グループ制を廃止し、課・係制移行等、行政のスリム化や事務処理の迅速な対応ができる体制を構築する考え方のもと、行うものであり、内容については、概ね了承する。

(1) 臨時職員の配置状況について

臨時職員の雇用については、知内町で行われている準職員への処遇改善や、雇用期間の限度を定めての公募による採用等、より良い組織体制を構築されたい。

(2) 機構再編以外での具体的な方策について

今回の機構再編に伴う、基本的な考え方である行政コストの削減、行政のスリム化、高度化・多様化する行政ニーズに対応する事務処理に迅速な対応ができる体制の構築のために示された内容以外の具体的な方策についての委員会意見を、次のとおり述べる。

① 職員研修の充実

職員一人ひとりの能力向上を図るため、職階・職種別の研修のほか、北海道との派遣交流等を実施することであるが、近年、町外からの新規採用者が多くなっており、体験に勝る学習はないことから、町に慣れ親しむための町民とのコミュニケーションの取り方などの研修や関係団体の若手職員との交流、友好市町との職員交流など、職員研修の更なる充実を図られたい。

② 人事評価の実施について

平成28年度から人事評価制度が導入・実施されることから関係団体と協議を進め、適正な運用を図ることであるが、人事評価制度の趣旨に鑑み、勤勉手当等へ反映されるための対応を早急に図られたい。

4. 定員管理適正化計画の見直しについて

第4次福島町職員定員適正化計画の見直しについては、新たな執行体制による機構再編、退職予定者全員の再任用を基本とすることや、人口減少が続く中での職員の削減方針は理解する。

一般職同様、専門的な技術職の職員についても、関係機関に協力を求め、広く募集を行うなど、早めの対応を図られたい。

議 会

の

評 価

【平成27年度(1年間)の活動結果】

議会は、町民に議会・議員の活動内容を周知し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図るため、しっかりと現状を把握し議会の評価を行っています。

議会活動を主要10項目と具体的な36項目に区分し議員・議会の活動状況の基礎資料と、全国・全道の町村議会の実態や先進的な運営をしている議会などと比較検討し、議会運営委員会（4月22日決定）が評価して町民に公表するものです。

昨年度との比較で良化・悪化した項目はありませんでしたが、本年度も引き続き、「町民が実感できる政策を提言する議会」を目指し、評価結果・諮問会議の意見を参考にしながら新たな課題を設定し、豊かな町づくりのために不断の努力を続けてまいります。

※1. 議会の活性化度、③討論、④討議については、諮問会議の意見をいただき、今回から③討論・討論（本会議）、④討議（委員会）と改正しております。

【評価の分類：○＝「概ね一定の水準にある」 △＝「一部水準に達成していない」 ▲＝「取組みが必要」】

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			H27評価	摘 要
		H24	H25	H26		
1. 議会の活性化度	①一般質問	△	△	△	△	昨年度に比べ延べ人数は5人、項目数では5件減少した。1定例会平均質問率29.6%（全国51.7%、全道39.1%、渡島管内34.4%）となっている。より積極的な一般質問への取組みが必要である。昨年度と同様、一般質問の追跡調査を実施している。
	②質疑	○	○	○	○	本会議を始めとし、予算・決算審査特別委員会の審議も活発に行っている。引き続き質疑内容を充実する。 （本会議の質問率：定例76.1%、定例外27.0%） （平均質問者・件数：定例7.0人、50.0回 定例外2.5人、9.0回）
	③討論・討論（本会議）				△	事前勉強会等の実施により本会議での討論・討論は少ないものとなっているが、引き続き論点・争点を明らかにした討論・討論への取組みが必要である。 （H26＝本会議2件 延べ6人、H27＝本会議1件 延べ1人）
	④討議（委員会）				○	各種委員会において質疑・意見交換で出された内容を論点整理した項目に沿って活発な議員間討議を行っている。 （H27開催日数：常任委員会＝10日、特別委員会＝24日）
	⑤議員提案	○	○	○	○	一般質問項目を常任委員会で検討しているが、所管調査としての取組みは行っていない。所管事務調査結果を行政側に手交することで議会の考えが政策等に反映されるようになっている。政策を反映する条例提案までには至っていない。
	⑥文書質問	△	△	△	△	質問が特定の議員に偏っている。政策提案等に向けた文書質問への取組みが必要である。 （H26＝実2人、8項目 H27＝実3人、5項目）
2. 議会の公開度	①委員会の公開	○	○	○	○	本年度は100%公開し、委員会もライブ中継を行っている。
	②審議記録の公開	○	○	○	○	ホームページで全て公開している。
	③審議前の会議資料の公開	○	○	○	○	ホームページの容量的制限を受けるもの（予算書など）以外は、基本的に全て公開している。
	④議会経費の公開	○	○	○	○	決算内容を含め、交際費及び政務活動費などの詳細も全て公開している。
	⑤視察報告の公開	○	○	○	○	本会議及びホームページで公開している。
	⑥全員協議会の公開	○	○	○	○	ライブ中継及び録画配信を行っている。
	⑦会議公開の充実（ライブ中継）	○	○	○	○	H27年度には配信機器の更新を実施し、より鮮明に配信することができている。また、町民からの要望に伴い、スマートフォンでの視聴も可能としている。（録画配信のみ） 全道＝69議会
3. 議会の報告度	①議会だより・速報版等の発行	○	○	○	○	議論状況や内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の掲載も充実させた。今後はより見やすい大きな文字サイズでの発行が課題である。 全道＝単独発行119議会
	②議会ホームページの運用	○	○	○	○	H28年3月より議会ホームページをリニューアルした。引き続き、迅速な公開に努める。 全道HP＝119議会
4. 住民参加度	①各種団体との懇談会の開催（常任委員会の活動）	△	△	△	△	テーマと開催方法（住民主催等）を工夫した取組みが必要である。 【懇談会：H25＝1回、H26＝0回、H27＝0回、出前議会：H24＝1回】
	②町民と議員との懇談会の開催	○	○	○	○	H27は町内会長を対象に懇談会を開催。引き続き懇談内容の充実への取組みが必要である。（H26＝6日間・18会場156人、H27＝1日間・1会場30人） 全道＝63議会
	③参画者への対応と参加度	○	○	○	○	参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題である。 （H26＝定例51人、平均12.8人 定例外25人、平均3.1人） （H27＝定例20人、平均5.0人 定例外48人、平均4.0人） （全道平均＝定例10.6人、定例外1.2人）
	④休日・夜間議会の開催	○	○	○	○	H19から夜間議会を開催している。休日議会は未実施である。 （H26＝15人、H27＝12人） 全道＝夜間8議会、休日6議会

※1 「討論」とは、議会の本会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対の議員個々の意思を表明すること。

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			H27評価	摘要
		H24	H25	H26		
5. 議会の民主度	①一般質問の一問一答方式	○	○	○	○	一問一答方式を実施している（H12）。質問回数と時間制限の規定を廃止している（H20）。全道＝115議会
	②説明員との対面方式	○	○	○	○	庁舎建設時から実施している（H6）。全道＝127議会
	③一般質問の答弁書配付	○	○	○	○	実施済み（H13.9）。質問に関する的確な（漏れや補足答弁を必要としない）通告書、答弁書となるように改善していくことが必要である。
6. 議会の監視度	①長との適正な関係の維持	○	○	○	○	福島町議会議員の不当要求行為等を防止する条例を制定して（H20）、町長との適正な緊張関係を維持している。
	②全員協議会の適切な運用	○	○	○	○	事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。
	③議会権能（けん制・批判・監視等）の適切な遂行	○	○	○	○	常任委員会等の所管事務調査結果を手交している。一般質問等の追跡調査要綱を作成しH27.3月会議から実施している。（H27＝3月第2回会議3件、予算審査特別委員会2件）
7. 議会の専門度	①所管事務調査の充実強化	○	○	○	○	常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。調査意見を行政側に説明し手交することで委員会の意向が政策に反映されるようになった。また、H25より一般質問項目を対象とした所管事務調査に取り組んでいる。[H27調査件数8件]
	②政策立案・審議能力の向上強化	○	○	○	○	H25.12月に「第5次福島町総合計画策定に係る提言書」として83の課題項目を設定し、それぞれの解決に向けた方策等の考え方を示し町長に提出した。H27年度に調査した「第5次福島町総合計画策定に関する調査特別委員会」においても、提言書の内容にこだわりを持ち議論し、数値目標の設定など議会としての意向が反映される形となっている。また、「福島町総合戦略に関する調査特別委員会」においても、活発な質疑・意見交換を行い、2月会議において議決する形となった。
	③議決権範囲の拡大	○	○	○	○	町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実にも繋がった。2月会議において「福島町人口ビジョン・総合戦略」を追加する条例改正を行った。
8. 事務局の充実度	①議場・委員会室の整備充実	○	○	○	○	H27に議場映像設備更新事業を実施し、より鮮明に映像を配信できるようになった。また、スマートフォンでの視聴も可能となった。H28には「議場等音響設備更新事業」の実施を予定している。
	②事務局の充実強化	○	○	○	○	情報公開の迅速化、充実した情報・資料収集、法務能力の向上などに取り組んでいる。体制は正職員3人、臨時1人で充実している。
9. 適正な議会機能	①法定以外の執行部付属機関への委員就任廃止	○	○	○	○	法定となっている、民生委員推薦委員会、都市計画審議会、青少年問題協議会のみ就任している。
	②適正な議会経費	○	○	○	○	諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定した。（標準額＝3,184千円・H27決算見込額＝3,228千円）
	③議会の自主性強化	○	○	○	○	「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。
	④議会付属機関の設置	○	○	○	○	福島町議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問し、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。
	⑤系統議長会の体制整備	△	○	○	○	道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。（資料提供、道内の町村議会のリンク等）
10. 研修活動の充実強化	①研修の効率的な取組み	○	○	○	○	本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認している。議員研修会の報告会を開催し情報共有を図っている。議員会において、北海道立埋蔵文化財センター（江別市）の視察を行い、館崎遺跡出土品の状況を確認した。（H26＝勉強会・本会議4回、常任委員会・2回、報告会2回）（H27＝勉強会・本会議2回、議員会視察研修1回（江別市））

議会評価に対する 諮問会議の意見

去る5月16日(月)に開催された「議会基本条例諮問会議」において、平成27年度分の議会評価の内容等を検討していただきました。

諮問会議条例第2条に基づき、議長から調査審議を求められている事項のうち、平成27年度分の議会評価について、議会で決定した評価項目ごとの内容を検討し、次のとおり諮問会議の意見と改善内容をまとめましたので、その概要をお知らせします。

【諮問会議委員】任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日

○会長 村山 和治さん
○委員 金澤 富士子さん、工藤 昭一さん、
鳴海 孝広さん、神原 勝さん（札幌市）

1. 議会の活性化（16ページの内容）

評価項目「③討論」と「④討議」について、評価対象が曖昧なため項目の整理を行ったほうが良い。

→評価項目を一部変更しました。

③討論 → ③討議・討論（本会議）

④討議 → ④討議（委員会）

※平成27年度の評価から適用しておりますので、過去3年間の評価は空欄としています。



「議員活動の自己評価」!

平成27年度分（平成27年4月～平成28年3月）

平成17年分の議会活動から始めた議員の自己評価は、今回で11回目となります。議員自己評価は、全議員（10名）から提出がありました。右表のとおり5分野について具体的に取り組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の134項目中、「○ほぼ満足」は55件で41%、「△努力が必要」は59件で44%、「▲さらに努力が必要」は20件で15%となりました。

しかしながら、取組の評価では「○ほぼ満足」が41%となっておりますが、結果の評価では29%と大きく差があります。このことから、今後も各議員の取り組みが今まで以上に結果として反映されるよう努力する必要があります。

また、議員個人としての活動について、3名の議員から報告がありました。

□ 自己評価は次の指針により実施しています。

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度（居眠り、私語など）、審議の態度（品位の保持、審議への協力）
2. 監視評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで指摘した事項が改善されたか。また、政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取組み評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。

○議員別の評価集計

議員名	杉村志朗		滝川明子		川村明雄		花田 勇		木村 隆		平沼昌平	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	3	0	2	4	4	1	9	5	9	6	9	6
△ 努力が必要	9	9	10	6	3	4	0	4	1	4	7	10
▲ さらに努力が必要	1	4	0	2	0	2	0	0	2	2	0	0
計	13	13	12	12	7	7	9	9	12	12	16	16

議員名	佐藤孝男		熊野茂夫		平野隆雄		溝部幸基		合計	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	7	5	9	8	1	2	2	2	55	39
△ 努力が必要	2	4	0	1	12	11	15	12	59	65
▲ さらに努力が必要	0	0	0	0	5	5	12	15	20	30
計	9	9	9	9	18	18	29	29	134	134

〔分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」= 取組の評価 「結果」= 結果の評価〕

○議員個人としての活動

	川村明雄	花田 勇	熊野茂夫	溝部幸基
報告会等の実施	—	4	3	1
議員だよりの発行	—	—	—	—
個人ホームページの開設	○	—	—	○
その他	—	—	—	—

●議員活動の目標（公約）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。

本年度は、全議員（10名）で総数134項目（昨年度：10名提出 142項目）となりました。

【個人票はP26～P27に掲載しています。】

「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類： ○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

評価期間：平成27年4月～平成28年3月

杉村志朗 67歳

経済福祉常任委員会委員

議員歴17年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	各公共施設の確認	△	△
	過疎地域の援助に対し支援	△	▲
	地元企業支援体制の考え方	△	▲
財政	町民に負担のない健全財政の確立	△	△
経済	遊休農地の確認・推進	△	△
	地元産業（後継者）支援の確立	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	住民環境の実施体制	△	△
	障害者支援	▲	▲
	高齢化社会に対応した葬祭費の見直し	△	▲
教育	福島高校存続の確立	○	△
	いじめのない学校管理運営	△	△
その他	将来人口減少対策	○	△
	新幹線開業に向けた集客対策	○	△

滝川明子 74歳

総務教育常任委員会委員、
議会運営委員会副委員長

議員歴25年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	防災の町づくりへ推進	△	△
	男女共同参画の推進	△	△
財政	住宅リフォーム助成を	△	▲
経済	若者雇用の場づくりを中心に定住対策	△	△
	特養ホームの増床	△	▲
福祉	保育料の見直し	△	○
	ゆとらぎ館の改築	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	学校給食費の見直し	△	○
	いじめを絶対許さない対策推進	△	△
	高校存続対策	△	△
その他	議会基本条例に基づく活動の推進	○	○
	町内会を中心にボランティア活動の推進	○	○

川村明雄 70歳

総務教育常任委員会委員長、
議会運営委員会委員

議員歴9年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	定住及び少子化対策への政策提言	○	△
財政	ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用の推進	△	▲
経済	空き家の利活用や処理対策の推進	△	△
福祉	少子化への対策と子育て支援問題への提言	○	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	福島高校存続対策の推進	○	△
その他	館崎縄文土器に関するまち興し対策への考察	△	△
	道路等身近な生活環境の改善対策	○	○

花田 勇 75歳

経済福祉常任委員会副委員長、
議会運営委員会委員、
渡島西部広域事務組合議会議員

議員歴5年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	第5次福島町総合計画の遅れている事を早急に進めていくこと。	○	○
	人口減少に対する対応について。	○	△
財政	厳しい財政の中、今必要か不必要かをチェックして行きたい。	○	○
経済	一次産業の町づくりに努力したい。	○	△
	水産・農業については特に力を入れたい。	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	老人ホームの少ない中で、在宅介護に対する支援を充実させて行かなければと考える。	○	△
教育	高等学校存続のための支援策。	○	○
	小中学校においては道徳教育が必要。	○	○
その他	各種・行事や視察、研修等へ参加。	○	○

木村 隆 36歳

総務教育常任委員会副委員長、
議会運営委員会委員、監査委員

議員歴9年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	総合計画・地域総合戦略への提言	○	○
	公務員採用の見直し（社会人枠）	○	○
財政	助成金使用のチェック	○	○
	道の駅の方向性の確立	○	△
経済	企業振興条例の検証	○	△
	吉岡総合センターの利活用	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	空き家利活用対策	○	○
	高校存続活動強化	○	○
教育	町民プール運営の見直し（利用料等）	▲	▲
	タブレット利用教育の実現に向けた対応	▲	▲
その他	青年部活動の充実	○	△
	監査委員としての研鑽を積む	○	○

平沼昌平 60歳

議会運営委員会委員長、
経済福祉常任委員会委員

議員歴11年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	雇用の場の創出に向けた提言	○	○
	渡島西部四町各自治体との広域連携と広域的観点から人口減少と地方創生に向けての取組に対して提言をする。	△	△
財政	効率的な事務事業を検証し、経費節減に対して提言する。	△	△
経済	後継者育成と定住化促進に向けての提言	△	△
	一次産業に対する施設整備の提案と経営安定化に対する提言。	○	△
	町内インフラ整備の充実と保守維持体制の推進に対する提言。	○	△
福祉	高齢者の生活環境の充実とサポート体制の提言。	△	△
	在宅介護支援体制の充実と子育て世代の支援体制の提言。	△	○
	健康な町づくりに対する保健医療環境の充実した体制づくりの提言。	△	△
教育	道徳教育を中心とした教育体制の提言。	△	△
	少子化による学校教育の環境整備と地域環境のあり方について提言。	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	社会教育の充実と施設環境の整備に対する提言。	○	△
	松前半島高規格道路整備に向けた取組体制の提言。	○	○
その他	有害獣駆除に対する後継者育成支援体制の充実と後継者確保及び事業の広域的（4町）取組の環境整備に対する提言。	○	○
	吉岡支所の効率的活用とそれに伴う行政サービスの推進。	○	○
	吉岡総合センターの活用と運営に対する提言。	○	○
	安心安全な道路網の整備と保全体制の充実に対する提言。	○	○
	公共施設の指定管理者制度導入に対する提言。	○	○
	隔たりのない公益性の充実のためNPO法人立ち上げに対する提言。	○	○
	水産加工事業に対する支援体制と雇用体制の充実に対する提言。	○	○
	漁業の新たな養殖事業や既存養殖事業の環境整備の支援体制の提言。	○	○

佐藤孝男 69歳

総務教育常任委員、
渡島西部広域事務組合議会議員、
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

議員歴21年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	第5次福島町総合計画明確化	○	○
財政	無駄のない財政健全化取組み	○	○
経済	漁業・農業の振興（新規就業者の確保と育成）	○	△
福祉	介護予防医療の推進	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	学校教育センターの地場産物の強化	○	△
	福島高校存続推進	○	○
	体験学習実施	△	△
その他	各種行事参加	○	○
	町内会活動の参画	○	○

熊野茂夫 66歳

経済福祉常任委員会委員長、
議会運営委員会委員

議員歴5年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「総合計画」の確実な推進と諸提言をいたします。	○	○
	各公共施設の再整備と改修への諸提言をいたします。	○	○
財政	財政の健全化への取組み（将来を見据えた予算編成への諸提言）	○	○
経済	「養殖事業」の安定と発展のための諸提言をいたします。	○	○
	将来を見据えた実効性のある農林業計画への提言をいたします。	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	高齢者が利用しやすい公共施設の改修・整備への諸提言をいたします。	○	○
	国民健康保険・介護保険会計の健全な財政運営への諸提言をいたします。	○	○
教育	教育環境の再編と充実のため施策提言をいたします。	○	○
その他	生活環境改善への提言	○	○

平野 隆雄 67歳

副議長、広報・広聴常任委員会委員長、
総務教育常任委員会委員、経済福祉常任委員会委員、議員歴20年
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	町基盤産業の支援、町内景気の活性化	▲	▲
	自然環境保全、汚染防止対策	△	△
	各公共施設の管理運営	△	△
	松前半島高規格道路推進	▲	▲
財政	福島川改修事業の推進	△	△
	町施設の利用促進、円滑な管理運営	△	△
経済	町内特産物のブランド化の促進	▲	▲
	町内起業家の育成、支援対策	△	△
	町内各産業の新たなブランド開発推進	▲	▲
	インターネット活用販売促進	△	△
	高齢化等における水産加工場への対応	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	健康な町づくりの推進・医療費助成	△	○
	給食を通じた食育と地産地消促進	△	△
教育	少子化の中の教育行政の見直し	△	△
	生涯学習の専門指導者の配置（学芸員）	▲	▲
その他	学校における相撲の推進	○	○
	吉岡温泉の円滑な管理運営	△	△
	横綱ビーチの利用促進	△	△

溝部 幸基 68歳

議長（渡島西部広域事務組合議会議長）、
総務教育常任委員会委員、
経済福祉常任委員会
議員歴36年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（総合計画条例に関する提言）	△	△
	行政情報の公開・共有の積極的推進	△	△
	広域行政の連携促進	▲	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）	△	▲
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）	△	▲
財政	浄化槽（下水道整備）の普及推進	▲	▲
	財政健全化への取組み（予算決算審査・行政評価充実：基金有効活用）	△	△
経済	公共施設白書に関する研修、退職手当制度の抜本的改善	△	△
	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設	△	△
	異業種連携による「福島ブランド」の開発	▲	▲
	インターネット販売（地場産品）の推進（町HPの積極的活用等）	▲	▲
福祉	地球温暖化対策の提言（リサイクル事業・生ごみ堆肥化・森林整備等）	▲	▲
	「健康な町づくり」（全町的な取組み）で医療費の節減	▲	▲
	予防医療の推進	▲	▲
	在宅介護支援体制の整備	▲	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	広域な分野（産業・福祉・生涯学習等）の人材育成基金創設	△	△
	子どもや高齢者が積極的に参加する幅広い生涯学習の推進	▲	▲
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み（情報収集・研修）	▲	▲
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進	▲	▲
	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」制定→情報収集・実践計画・研修）	△	△
その他	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現（議会基本条例の周知）	△	△
	活発な討議（討論）ができる議会の実現	△	△
	政策的な提案のできる議会の実現	△	△
	町議会議員選挙への供託金制度導入	▲	▲
	インターネット映像配信システムの充実（光回線の整備）	△	▲
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	△	△
	視察の積極的な受け入れ（日置市・色麻町・柴田町・若狭地方議長会・那須町・中能登町、木曾町他計9団体72名：1市10町村1新聞社）	○	○
	ホームページの充実（提案、情報発信、参加型）	△	△
	各種行事、研修への積極的な参加（活動実日数 275日）	○	○

今まで以上に 分かりやすく 探しやすい 議会ホームページ

をリニューアルしました！

平成28年3月より議会ホームページをリニューアルしています。
議会の予定や、会議資料（議案や一般質問等）・映像、会議録、議会だよりなどを見ることができますので、下記のURLからアクセスしてご覧ください。

○議会ホームページ <http://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>

（リンク先：福島町ホームページ）

福島町HP <http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/>



議員活動の目標（公約）（個人票）

目標期間：平成28年4月～平成29年3月

〔杉村志朗〕

分野	具体的な目標項目
行政	各町内会の会館の存続・廃止対応 地元企業支援の充実
財政	町民に負担のない財政の確立
経済	遊休農地の確認と解消対策の推進 地元産業支援の確立
福祉	住民環境（安心できる）対応 障害者支援 高齢化に対応した葬祭費の見直し
教育	いじめのない学校運営管理
その他	将来人口減少対策 岩部地区方面（観光及び崩落石）対策 横綱ビーチの有効活用

〔滝川明子〕

分野	具体的な目標項目
行政	防災の町づくりの推進 男女共同参画の推進
財政	住宅リフォーム助成を
経済	若者雇用の場づくりを中心に定住対策 特養ホームの増床
福祉	ゆとらき館の改築
教育	いじめを絶対許さない対策推進 高校存続対策
その他	議会基本条例に基づく活動の推進 町内会を中心にボランティア活動の推進

〔川村明雄〕

分野	具体的な目標項目
行政	定住及び少子化対策への政策提言 住民が誇れる魅力ある景観等まちづくり提言
財政	ふるさと応援基金及び財政調整基金の有効活用 町総合計画と将来的安定財源の確保、推進
経済	空き家の利活用や処理対策の推進 企業支援対策の推進と定住支援環境の整備
福祉	少子化対策と子育て支援対策の推進 吉岡温泉ゆとらぎ館改修案の提言
教育	福島高校継続対策の推進 小、中、高一貫教育の考察と提言
その他	館崎縄文土器に関するまち興し対策への考察 道路等身近な生活環境の改善対策の推進 町内会を始めとする各種ボランティア活動の実践

〔花田 勇〕

分野	具体的な目標項目
行政	町民が何を望んでいるのかよく声を聞きスピード有る行政で有るよう取組む
財政	健全財政を確保して行かなければ健全なる行政運営は出来ないと思っており、充分な議論をして行きたい。
経済	今後も一次産業の活性化のために努力をし増養殖（水産）を提言し、地場産業として成立するように取組みたい。
福祉	福祉は分野が広く、場当たりの事ではなく長いスパンで何が一番必要なのか自分なりに考え提言する。
教育	小中学校の学力向上の推進。高等学校の存続のため引き続き支援策を推進する。
その他	NPO法人による公共施設の指定管理制度 福島町の歴史についての提言 各種行事への参加

〔木村 隆〕

分野	具体的な目標項目
行政	人材育成政策の利活用 道路政策への調査（228線や松前半島道路）
財政	定例、決算審査をしっかりと行う（監査委員） 水産被害対策
経済	新しい企業応援政策への提言 サーモン、あわびの新しい養殖政策に対する研究と提案
福祉	空き家リフォーム政策
教育	高校存続への働きかけ
その他	青年部活動の強化（渡島青連事業への参加） 福島会や姉妹町との交流

〔佐藤孝男〕

分野	具体的な目標項目
行政	第5次福島町総合計画の注視
財政	将来を見据えた無駄のない財政健全化の取組み
経済	漁業・農業の振興（新規就業者の確保と育成） 新たな養殖事業（アワビ）推進、既存養殖事業（ナマコ）の検証
福祉	介護予防医療の推進 学校給食センターの地場産物の強化
教育	体験学習の実施（食育への取組み） 福島商業高校存続の推進
その他	各種行事の積極的な参加 町内会活動の参画

〔熊野茂夫〕

分野	具体的な目標項目
行政	「第5次総合計画」の確実な推進のため全力で議会・議員活動をいたします。
財政	将来を見据えた予算編成への諸提言をし、町財政の健全な運営への取組みをいたします。
経済	「養殖事業」の安定と発展のための諸提言をいたします。 実行性のある農林業計画への提言をします。

分野	具体的な目標項目
福祉	高齢者が利用しやすい公共施設の改修・整備への諸提言をいたします。 国民健康保険・介護保険会計の健全財政経営への諸提言をいたします。
教育	教育環境の再編と充実のための諸政策を提言します。 「福島商業高校」の存続のため全力で取り組みます。
その他	生活環境改善の提言をいたします。

〔平沼昌平〕

分野	具体的な目標項目
行政	雇用の場の創出に向けた提言
財政	効率的な事務事業を検証し、経費削減に対して提言する。 後継者育成と定住化促進に向けての提言
経済	一次産業に対する施設整備の提案と経営安定化に対する提言 町内インフラ整備の充実と保守維持体制の推進に対する提言
福祉	高齢者の生活環境の充実とサポート体制の提言 在宅介護支援体制の充実と子育て世代の支援体制の提言 健康な町づくりに対する保健医療環境の充実した体制づくりの提言
教育	少子化による学校教育の環境整備と地域環境のあり方について提言 社会教育の充実と施設環境の整備に対しての提言

分野	具体的な目標項目
その他	松前半島高規格道路整備に向けた取組体制の提言
	有害獣駆除に対する後継者育成支援体制の充実と後継者確保及び事業の広域的（4町）取組の環境整備に対する提言
	吉岡支所の効率的活用とそれに伴う行政サービスの推進
	吉岡総合センターの活用と運営に対しての提言
	安心安全な道路網の整備と保全体制の充実に対しての提言
	漁業の新たな養殖事業や既存養殖事業の環境整備の支援体制の提言
	隔たりのない公益性の充実のためのNPO法人立ち上げに対する提言
	水産加工事業に対する支援体制と雇用体制の充実に対しての提言

〔平野隆雄〕

分野	具体的な目標項目
行政	町基盤産業の支援・町内景気の活性化
	自然環境保全・汚染防止対策
	各公共施設の管理運営
	松前半島高規格道路推進
財政	福島川改修事業の推進
経済	町施設の利用促進・円滑な管理運営
	養殖事業の新たなブランド化の促進（ホッケ、油子〔アイナメ〕等）
	町内起業家の育成、支援対策
	町内各産業の新たなブランド開発推進
	インターネット活用販売促進
	高齢化等における水産加工場への対応
	町内特産物のブランド化の促進

分野	具体的な目標項目
福祉	健康な町づくりの推進・医療費助成
教育	給食を通した食育と地産地消促進
	少子化の中の教育行政の見直し
	学芸員の配置
	福島商業高等学校存続対策強化推進
その他	学校における相撲の推進
	吉岡温泉の円滑な管理運営 横綱ビーチの利用促進

〔溝部幸基〕

分野	具体的な目標項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証）
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査研修
	「行政と連動するNPO」に関する調査研修
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等・危機管理に関する研修）
	「平和の町宣言」に関する調査研修
	浄化槽（下水道整備）の普及推進
財政	財政健全化への取り組み（予算・決算審査・行政評価充実・基金の有効活用）
	退職手当制度の抜本的改善
経済	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設
	異業種連携による「福島ブランド」の開発
	地場産品の6次産業化に関する調査研修
	産業団体と課題に取り組む産業公社的仕組みづくりの調査研修
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査研修
	「健康な町づくり」（全町的な取組）で医療費の節減
	予防医療の推進 在宅介護支援体制の整備

分野	具体的な目標項目
教育	小中学校一貫教育、コミュニティースクールに関する調査研修
	子どもや高齢者が積極的に参加する幅広い生涯学習の推進
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み（情報収集・研修）
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進
	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修）
その他	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現（議会基本条例の周知）
	活発な討議（討論）ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
	町議会議員選挙への供託金制度導入
	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	視察の積極的な受け入れ
	ホームページの充実（提案、情報発信、参加型） 各種行事、研修への積極的な参加

◆ 会議等出席状況 ◆

会議や議会へ通知があった行事等の2月から5月までの出席状況をお知らせします。
「○」は出席、「×」は欠席、「－」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため欠席、「職」は職務出席を表しています。

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	杉 村	滝 川	川 村	花 田	木 村	平 沼	佐 藤	熊 野	平 野	溝 部
H28. 2. 12	渡島廃棄物処理広域連合第1回定例議会・全員協議会	－	－	－	－	－	－	○	－	○	－
2. 13	町内会連合会 総会	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
2. 14	福島吉岡漁業協同組合新事務所落成式	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
2. 15	渡島西部四町議会議員連絡協議会定期総会・研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2. 18	福島町農業協同組合通常総会	－	－	－	－	－	－	○	－	－	○
2. 19	渡島町村議会議長会総会	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
2. 23	議会運営委員会（定例会2月会議の運営ほか）	－	○	○	○	－	○	－	○	職	職
2. 23	定例会2月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2. 23	経済福祉常任委員会（意見書2件ほか）	○	－	－	○	－	○	－	○	○	○
2. 24	総務教育常任委員会（平成28年度予算に関連した条例制定及び条例の一部改正等について）	－	○	○	－	○	－	○	◎	○	○
2. 25	スポーツ・文化賞表彰式	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○
2. 25	福島町森林組合通常総会	－	－	－	－	－	－	○	－	－	○
2. 26	渡島西部広域事務組合第1回定例議会	－	－	－	○	－	－	○	－	－	○
3. 1	福島商業高等学校卒業式	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
3. 1	北海道新幹線開業記念福島町両記念館オープンセレモニー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3. 2	議会運営委員会 （定例会3月会議・3月第2回会議の運営ほか）	－	○	○	○	－	○	－	○	職	職
3. 3	定例会3月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3. 3	2/24 総務教育常任委員会意見書の手交	－	－	○	－	－	－	－	－	○	○
3. 4	福島町自衛隊父兄会総会及び自衛隊入隊者激励会	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
3. 4	福島町椎茸生産組合定期総会	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
3. 7	議員勉強会	○	－	－	○	○	－	○	○	○	○
3. 10	定例会3月第2回会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3. 11	定例会3月第2回会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3. 14	予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	職
3. 15	福島中学校卒業式	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
3. 15	予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	職
3. 16	予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	職
3. 17	定例会3月第2回会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3. 18	吉岡小学校卒業式	－	○	－	－	○	○	○	－	－	○
3. 18	福島小学校卒業式	－	－	－	○	－	－	－	○	○	－
3. 23	福島幼稚園保育証書授与式	－	○	○	－	－	－	○	－	－	○
3. 23	議会運営委員会（定例会3月会議の反省事項ほか）	－	○	○	○	－	△	－	○	職	職
3. 24	北海道新幹線開業安全祈願祭	－	○	○	○	－	○	○	○	－	○
3. 25	認定こども園福島保育所卒園式	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○
3. 26	北海道新幹線新青森・新函館北斗間しゅん功開業式・祝賀会、道南いさりび鉄道開業祝賀会	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	杉 村	滝 川	川 村	花 田	木 村	平 沼	佐 藤	熊 野	平 野	溝 部
H28. 3. 26	北海道新幹線木古内駅開業祝賀会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
3. 30	議会運営委員会（定例会3月第3回会議ほか）	-	○	○	○	-	○	-	○	職	職
3. 30	定例会3月第3回会議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
3. 31	福島吉岡漁業協同組合通常総会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
4. 4	認定こども園福島保育所入園式	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
4. 6	吉岡小学校入学式	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
4. 6	福島小学校入学式	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○
4. 6	福島中学校入学式	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 6	3/23 議会運営委員会反省事項の手交	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○
4. 6	春の交通安全大会・祈願祭	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-
4. 8	福島商業高等学校入学式	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○
4. 8	福島町商工会青年部通常総会	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○
4. 9	吉岡総合センター落成式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 10	北海道福島会（東京都）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
4. 12	福島幼稚園入園式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
4. 15	福島町観光協会通常総会	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○
4. 20	石川県志賀町議会行政視察受け入れ	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○
4. 23	議会運営委員会（議会評価ほか）	-	○	×	○	-	○	-	○	○	○
4. 25	渡島西部広域事務組合第1回臨時会	-	-	-	○	-	-	○	-	-	○
4. 26	議会運営委員会（定例会4月会議の運営ほか）	-	○	×	○	-	○	-	○	職	職
4. 26	定例会4月会議	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
4. 26	総務教育常任委員会 （人材育成・企業応援等の制度設計に関する調査について）	◎	○	×	◎	○	◎	○	◎	○	○
5. 2	福島町コミュニティ運動推進協議会総会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
5. 8	北海道女だけの相撲大会	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○
5. 10	渡島総合開発期成会役員会（函館市）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
5. 16	福島町議会基本条例諮問会議	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○
5. 17	交通安全運動推進協議会総会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
5. 18	渡島西部四町議会議員連絡協議会第1回理事会	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○
5. 18	福島町商工会総会	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○
5. 20	福島町老人クラブ連合会総会	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○
5. 23	議会運営委員会（定例会5月会議の運営ほか）	-	○	○	○	-	○	-	○	職	職
5. 23	定例会5月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5. 23	全員協議会 （低気圧による災害に係る被害状況報告及び今後の対応）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5. 23	議会運営委員会（議会だよりの編集ほか）	-	○	○	○	-	○	-	○	職	職
5. 24	渡島総合開発期成会定期総会（函館市）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
5. 25	総務教育常任委員会（原石売払いについて）	◎	○	○	-	○	-	○	-	○	○
5. 30～31	町村議会議長・副議長研修会（東京都）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○

29 福島町議会だより

町民の声

協同の力

福島吉岡漁業協同組合

吉岡地区女性部長

新山 則子さん

吉岡地区漁協女性部は、浜の母さんを中心とした67名の部です。

作業手伝い、加工場従事者、年金生活者等、年齢・生活形態はさまざまですが、皆さんに仲良く、参加協力していただいております。

(総会をはじめ、漁組周り清掃、先日の昆布施設災害時など)

今更ながら思う事は、一人一人の力は小さくとも、皆が集まると、大きな力となる事でした。家庭、職場、町内会行事等、皆さんの力を必要としている場がたくさんあります。当女性部も…。

「がんばりすぎず、

少しずつ」

皆で力を出し合い、仲良く、毎日を過ごしましょう。

※部員の皆さん、いつもありがとうございます！

議員の雑感

自然災害の恐ろしさ



経済福祉常任委員

花田 勇

今の日本列島は、各地で自然災害が起きております。

このことも地球温暖化が一因ではないかと思っております。

福島町においても4月18日、低気圧による強風と高波の被害を受けました。特に養殖昆布施設では全体の70パーセント位が流出する被害となりました。養殖昆布生産者にとりましては、かつてない程の大きな痛手となりました。

このことは、生産者はもちろんのこと、福島町にとっても大きな経済的損失であります。改めて自然災害の恐ろしさを感じ知らされましたが、災害はいつでもという形で起きるのかわかりません。

そのためにも、日頃から災害に対する準備を怠ってはならないと思っております。

議会の主な会議予定

※変更・追加となる場合もあります。

- 6月6日(月) 経済福祉常任委員会 午前10時～ 委員会室
〔町農業の現状及び福島町版営農モデルについて〕
- 13日(月) 議会運営委員会 午後3時～ 委員会室
〔定例会6月会議の運営ほか〕
- 21日(火)～22日(水) 定例会6月会議 午前10時～

【視察の受け入れ予定】

- 6月30日(木) 静岡県長泉町議会 (議会改革ほか)

編集後記

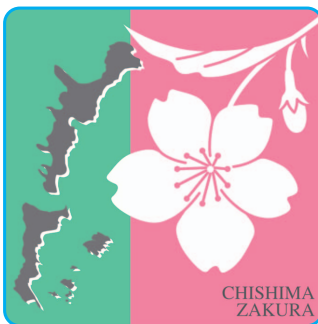


4月17・18日に発生した異常低気圧で被害を受けました皆様にあらためまして心からお見舞いを申し上げます。

千軒岳の雪渓も残り少なく、爽やかな風が海峡に流れ、海に山に、活動の時節となりました。

新年度が始まり、議会・議員の評価と、活動目標が提出されました(本紙掲載)。ご一読いただき、ご意見を頂ければと思います。

今回は、3月第2回議会を中心とした「議会だより第109号」をお届けしました。



北方領土返還要求運動シンボル「千島桜」